

# 平成26年第4回定例会 議会報告

(平成26年 11月28日～12月19日)

かみくら

## 秦野市議会議員 神倉ひろあき



●11月28日から始まった、第4回定例会は、12月19日、委員長報告をもって終了しました。この度は、多くの市民が疑問をもつ12月2日の議案審議における議案第57号(日産車体社宅跡地の不動産取得問題)について質問しましたのでご報告いたします。

★経緯：本年9月の第3回定例会での「平成26年度秦野市一般会計補正予算」において、曾屋にある日産車体社宅跡地購入のため、総計3億300万円を計上したことから始まりました。

●議会での疑義もありましたが、市民からの疑問の声が上がり、このことでマスコミ2社が取り上げました。

1つ目、11月18日の毎日新聞が「秦野市、民間より1300万円高く、自動車メーカー旧社員住宅入札、2億9400万円で買収」という見出しで、「定住化促進用の住宅に利用」のためだが、跡地売却で一度、業者が競争入札で落札したものを、市が、公有地拡大推進法により、見積りより高値で購入。当然、業者は、裏取引、信用失墜行為として非難。

2つ目、10月9日付タウンニュースの「デスク・レポート」では、「市は遊休市有地がある中、巨費を投じ新たな土地購入する必要があるのか。」市長は「市外の人に一定期間住んでもらい、秦野の良さを知ってもらうことで定住促進につながる」と言うが、どのような人を呼び込むのか具体策がない。建物の改造費用や収入見通しが無い等、手厳しい論調。

★議案第57号不動産の取得について(可決)・・・日産車体社宅跡地の不動産取得に約2億9千500万円(私は、信念を持って「反対」しました！！)

今後、リフォーム等にも3億4千900万円も掛かり人が住むまでには、市の負担額は約6億5千万円に達する！

**質問1** ①. 定住化促進施策を推進するための購入と言うが、定住化促進住宅の収支に係る試算はどのようなか。

②. 定住化促進について、どの位の人数を市外から呼び込み、促進住宅に入ってもらえるのか。

**回答**①. リフォームに設計委託料1千万円。改造工事費3億3千9百万円。維持管理費10年目まで毎年90万円。20年目まで240万円。5年後の退去時修繕費20万円。20年後の解体費8千5百万円。20年目までに全てで元が取れる。

②. 秦野に住んでもらい魅力を知り、将来、市内に住宅等を買って定住してもらうことを目標としている。改修した住宅に一定期間住んでもらい、その後、秦野に住宅を購入し定住してもらう。【回答になっていない！】人口減少にある本市にとって危機感を持って「魅力あるまちづくり」を取組む覚悟で定住化促進をあえて提示した。

**質問2** 財政が厳しい中、血税を投入し、この場所を取得する必要があるのか。

**回答(市長)** 人口減少と言う大きな課題を突き付けられた自治体が多種多様な方策の展開をしていくことだ。

**意見** 総合計画の中に定住化促進と言う施策はなく降ってわいた、あまりにも巨額な不動産投資に誰もが疑問を感じている。人口減少の歯止めとなる「魅力ある街づくり」は、こんな薄っぺらなものではない。国・県の動きをしっかりと把握し、秦野が持つ潜在力をどう活かすのか、総合的見地から成長戦略として「企業誘致等による雇用の創出」「子育て支援」「魅力ある街並みや中心市街地・商店街の活性化」等、明るい未来を拓く秦野の創生に全力を注ぐことである



●秦野市寿町1-25 TEL : 0463-81-5286

FAX: 0463-81-5296 携帯: 090-3533-8034

Eメール: [kamikura5@yahoo.co.jp](mailto:kamikura5@yahoo.co.jp) 議会報告

(水無川沿いの日産車体社宅)